

まなびあい

〈学校の教育目標〉

ルールをまもる子
チームワークをつくる子
ベストをつくす子

在籍児童数 男子279名 女子284名 計563名

元気なあいさつ日本一をめざして ～あいさつの大切さ～



学校再開から1カ月が経ちました。おかげさまで、新しい生活様式の中、子供たちは元気に学校生活を送っています。保護者の皆様、地域の皆様には本校教育活動へのご理解ご協力に心より御礼申し上げます。

さて、私は都合のつく限り、朝、東門の横断歩道にて交通指導員の方と子供たちを迎えます。コロナ禍におけるあいさつは、大きな声を出さずにお辞儀としています。全校児童の前に立つことが無かったためか、6月当初は私からあいさつをしてもなかなか返事ももらえませんでした。最近返事どころか、子供たちからのあいさつが増えてきました。お辞儀をする子、顔を向けて目を合わせてあいさつする子、マスクをしても目を輝かせて笑顔であいさつする子、体まで向けて深々とお辞儀する子、そんな子供たちからの朝のあいさつは、今日もきっといい一日になると予感させるとともに何といても元気をもらえます。私は「あいさつしてくれてありがとう、お辞儀してくれてありがとう」とお礼の言葉を返しています。

人を喜ばせる魔法の言葉ともいえるあいさつですが、漢字では「挨拶」と書かれます。語源は、禅語の「一挨拶」という言葉から派生したものとされていますが、「挨拶」は押す（心を開く）、「拶」は迫る（心に近づく）、「押す」と「迫る」で押し合うことから、自分の心を開いて、相手の心に近づいていく、ことだそうです。人間関係を築いていく第一歩と言えます。ですから、子供たちがあいさつしてくれると嬉しくてしかたありません。

先日、信号機のない横断歩道の一時停止率は、長野県が全国1位と報道されていました。その理由として挙げられていたのが、歩行者から運転手へのお礼のあいさつにあるとのことでした。三芳小の子供たちも多くの運転手さんが止まってくださり、安全に横断歩道を渡り、登校できています。いずれは交通指導員さんや私だけでなく、止まってくれている運転手さんにもお辞儀ができることを願っています。自分からあいさつできれば、きっと三芳っ子のあいさつは日本一になるでしょう。

1学期は7月31日までです。休校期間も含めて学習のまとめをしっかりと行っていきたいと思います。体調管理には十分お気を付けいただきますよう、引き続きご協力をお願いします。

皆様、今年の七夕には、どんな願いごとをされますか？ (校長 河野公子)

令和2年度学校評議員の皆様です。

日下部 辰夫 様 (北永井3区区長)
川越 節子 様 (そよ風保育園長)
鈴木 恵治 様 (北永井在住
元和光市小学校長)
黒田 嘉信 様 (元三芳町教育委員会)
中島 恵理香 様 (前本校PTA会長)

よろしく
お願いいたします。



マスク着用についてガイドラインを改訂しました

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、常時マスクを着用することになっています。しかし、だいぶ気温も高くなり、熱中症にも気を付けなければなりません。そこで、熱中症予防を考慮し、マスクの着用についてガイドラインを改訂しました。ホームページに掲載しますのでご覧ください。学校でも指導いたしますが、水分補給と合わせ、ご家庭でもお声掛けをお願いします。

